JDR AWARD FOR THE MOST DOWNLOADED ARTICLE 2025 を受賞しました

（2025/12/26）

テーマ：JDR（Journal of Disaster Research）、仙台防災枠組、防災教育、復興教育、学校安全
会　場：如水会館 2 階「梅の間」（東京都千代田区）

12月26日、如水会館において、「MURAKAMI Suminao Award 2025 and the JDR Annual Awards 2025」が開催されました。

この度、防災教育実践学分野の桜井愛子教授（クロスアポイントメント）と佐藤健教授による以下の共著論文が、『JDR Award for the Most Downloaded Article 2025』を受賞しました。

受賞論文

Aiko Sakurai, Takeshi Sato: Promoting Education for Disaster Resilience and the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction, Journal of Disaster Research, Vol.11, No.3, pp.402-412, 2016.

本論文は、JDR の「Special Issue on the Third United Nations World Conference on Disaster Risk Reduction (WCDRR) – Public Forum」に掲載されたものであり、2015 年に採択された仙台防災枠組を背景に執筆されたものです。内容としては、国際的な防災枠組の中で教育と学校がどのように位置づけられてきたか、その歴史的発展を明らかにするとともに、教育と学校安全の視点から仙台防災枠組の解釈を提示しました。中心となる論点では、災害における人命の保護は個人を対象とした教育だけでは達成できず、防災教育の実践における分野横断的な連携の重要性を指摘しています。

賞状と盾

文責：佐藤 健、桜井愛子（防災教育実践学分野）